

50回目定演 軽やかに

樽商大マンドリンオーケストラ



軽やかなマンドリンの音色に包まれた「プレクトラム・アンサンブル」の定期演奏会

小樽商大のマンドリンオーケストラ「プレクトラム・アンサンブル」の第50回定期演奏会が24日、小樽市民会館で開かれ、軽やかな音色を会場に響かせた。

同オーケストラは今年で創部50年。毎年、同会館で定期演奏会を開いてきた。部員は49人で、同大で最大規模の文化系サークルとなっている。

演奏会は、ドビュッシーの「月の光」やNHKの大河ドラマ「風林火山」のメイン曲など11曲を披露。200人を超す聴衆が耳を傾けた。マンドリンの種類を

紹介するコーナーも設け、団員が「マンドリンには音域の違いでファーストとセカンドの2種類があり、美しいメロディーの掛け合いができる」と説明し、音色を披露した。

三沢未奈部長は「結束の強い1年だった。50回まで演奏会を開けたのは協力者のおかげ。100年に向け、伝統を守りつつ、挑戦することを両立していきたい」と話した。(西出真一朗)